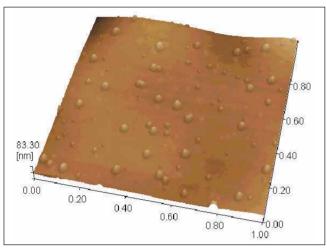
SPMだより

No.008

フィルム表面の観察例



1000.00×1000.00[nm] Z-Max 83.30[nm] Fig.1 三次元像

これはインスタントカメラフィルムのネガ表面です。 SPM(走査型プローブ顕微鏡)により、大気中、無蒸着、 非破壊で三次元形状が精密かつ容易に観察できます。 表面上に10nm相当の粒子が確認できることから、 SPMは驚異的な空間分解能を有していることが分かり ます(Fig.1)。

粘弾性測定システムにより、COS像*(Fig.2) など物 性を表わすデータを得ることができます。Fig.2では、 粒子とその周囲部の物性の違いが画像化されています。

画像データを処理することにより三次元表示したり、 断面形状 (Table.1) から高低差を知ることができます。 このように、SPMは光学顕微鏡や電子顕微鏡では得 られないデータを提供します。

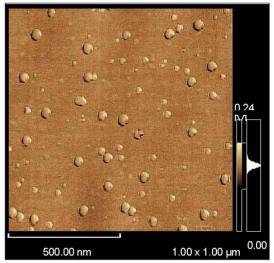


Fig.2 COS像

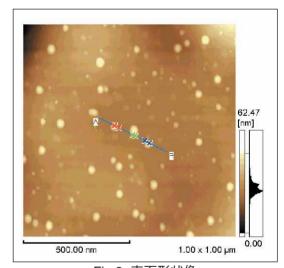
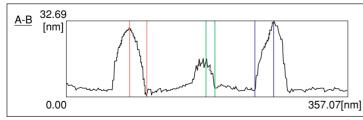


Fig.3 表面形状像



距離[nm]	高さ[nm]	角度[°]
 22.27	29.46	52.92
 11.13	10.32	42.83
 24.65	29.89	50.48
 •	•	

Table 1 断面形状

お問い合せ先

(株)島津総合分析試験センター(AMC)

=259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-1 TEL (0463)88-8680

- - ●関西(06)6373-6528 ●名古屋(052)565-7611 ●広島(082)248-4316 ●四国(087)834-3031
- ●東京(03)3219-5721 ●横浜 (045)311-4154 ●東北(022)221-6231 ●札幌(011)205-5500

^{*} 資料番号 C147-0554 粘弾性測定Q&Aを参照ください。